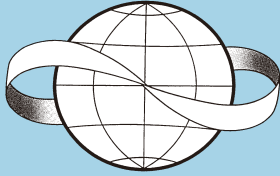


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第69号

商標登録第4882482号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町1-16-18
TEL: 042-395-9788
FAX: 042-395-9787

国内循環を基本にした再生資源物の品質の確保を!

先日、急に飛び込んできたニュースに、今や国際商品となった古紙や廃プラスチックを取り扱う再生資源業界に衝撃が走った。去る七月一日、中国が世界貿易機関(WTO)に対し、外国のごみ対策の一環として、年内にプラスチックや紙など一部廃棄物の輸入を停止すると通告したというのだ。さらに、八月六日の通達で未選別のミックス(雑がみ類)の輸入禁止を正式に決定した。再生資源物として輸入したものの中に、汚染物質や危険物質が大量に混入しているのが見つかり、中国の環境を深刻に汚染したのが原因としている。中国は再生資源物の輸入大国で、昨年輸入した廃プラスチックは七三〇万トン(三七億ドル相当)と、世界全体の五六%を占め、香港を除く最大の輸入元は日本と米国で、それぞれ全体の約一〇%を占めており、影響は大きい。

もう一つ懸念されるのがライセンスの問題。二月七日に中国税関にて開催された『国門利剣(ナショナルソード)二〇一七』プロジェクトに関する会議において、固体廃棄物(廃プラ、古紙、廃鉄など)や薬物、銃器などの品目を輸入規制の対象とすることが方針決めされた。これに続いてさらに中国政府は再生資源を含む廃棄物の輸入について管理規制の強化のため、長期的に輸入ライセンス保有企業の淘汰を求める方針を示した。実際七月より、中国全土の固体廃棄物輸入資格を保有する企業に対し、環境保護部による一斉監査が実施され、監査された企業のうち七割近くで何らかの不備が見つかり、今後多くの企業でライセンスが失効する可能性が出てきた。これにより、品質的に問題ない段階への影響も懸念され、中国への輸出事態は大混乱に陥っている。

こうした事態を受け、業界団体でも対応を検討している。古紙に関しては、回収量の二〜三割が海外に輸出されており、月末に発表される関東製紙原料直納商工組合の輸出価格は少なからず国内価格にも影響を与えている。最大の輸出国である中国輸出が止まった場合、相場の暴落や古紙の余剰化の懸念がある。現状、日本のミックスに関しては、選別されたものとして容認されそうだという甘い予測もあるが、中国側の要望する品質基準に対応していく必要がある。深刻なのは廃プラスチック類で、すでに粒子状に砕いたフレーク品

などを除いて輸入禁止になっているところもある。古紙問屋で選別した際に出るひもやビニール袋なども、今までのようにミックスプラでは輸出が出来なくなり、さらなる選別を余儀なくされている。東多摩再資源協では、地元各市から回収された古紙に関しては、国内循環の原則のもとに再資源化を行っており、今すぐに影響がでることはないが、品質の管理に対してはより一層の選別強化をするとともに、発生源である市民の皆様には、分別排出の徹底をお願いしていきたいと考えている。

エコセメント化や容リプラの分別回収により多摩地域の最終処分場問題もすっかり落ち着いたが、多摩のごみ問題が盛んに叫ばれていた平成五年前後、各地で始まった古紙類の行政回収により、集まりすぎた古紙の余剰化が問題となった。二〇〇〇年代初頭には、古紙回収率の向上に伴い余剰、大暴落、〇八年にはリーマンショック、そして今年、八〇九年サイクルで襲ってくる需給ギャップや相場の変動に対応していくには、市民・行政と回収業者、製紙原料問屋が一〇年、二〇年先もごみ化しない、持続可能な資源循環システムを作り上げていくことが必要だ。(TKO)

リサイクル適性(A)

直言拝聴

北区リサイクラー事業協同組合の歩み

(HP アドレス) <http://kitaku-rila.jp/>

北区リサイクラー事業協同組合 代表理事
東京都資源回収事業協同組合 業務委員長



鰐淵 雄二郎様

突然ですが問題です。日本の政令指定都市に「北区」は全部で二箇所あります。東京、札幌、さいたま、新潟、浜松、名古屋、京都、大阪、堺、神戸、熊本とあと一つはどこ？
というクイズが出来るほど日本に溢れている北区。東京都の北区

で有名な事は？と聞かれると・・・徳川吉宗が、桜の名所として整備したことで有名な「飛鳥山公園」が浮かびますが、業界の人に説明する時は王子製紙や十條製紙というピンとくる方が多いかと思えます。

製紙工業を中心に栄えた町も、産業構造に目を向けると、今では小規模事業者が中心で税収が少ないのが悩みの種・・・
人口は約三四万人、六五歳以上の高齢化率約二五%と二三区内ではトップクラスです。この高齢化とどう向き合っていくのか？区だけではなく当組合の課題となっています。

○北区の清掃事業

北区清掃事務所の事業所は二つあり、滝野川地区は戸別収集、王子地区は集積所でごみの収集が行われています。

全地区戸別収集も検討されてはいますが、年間約二億円程度の予算増額が影響しているのか、見送られています。

資源（古紙）回収も、滝野川地区は戸別収集を始めました。この事が地区内の集団回収量に大きな影響を与えた事は言うまでもなく、中止する団体も増えました。

この時が転換期、一匹狼の集まりで資源（古紙）回収業務受託を目的に立ち上げた組合が、個ではなく組織で生き抜く術を模索し始めた最初の年だったかもしれません。資源（古紙）回収事業における当組合の受託車両台数は二トン車両二台（三人での業務、安全面を考慮した区の方針）、軽車両二台。これは全体の四割程度で、他は雇上（清掃）業者が受託しています。

☆組合の取り組み①

北区リサイクラー事業協同組合（北リラ）式資源古紙回収

他地域と違うところは、組合員各社に担当現場を割り振るのではなく、組合員、各社の職員、組合員、アルバイトを株式会社北リラ（仮称です。もちろんそんな会社はありません）の社員として扱うという考えで予定編成、配車を行っている事です。

例えば、○曜日の○○地区はA社、B社、C社の社長さん同士の組み合わせ、なんて日もあります。このご時世、社員やアルバイトを見つけるのも難しい：一人で会社を運営している方でも、作業の相棒は組合が用意してくれるので、

気軽に参加できます。

☆組合の取り組み②

北リラ式集団回収

テーマは「区民が参加・排出しやすい環境をつくる事」。

高齢化が進む北区において従来の月一回収集、拠点まで運んでもらう方法では清掃事業の古紙回収に勝てる訳がありません。集団回収の戸別収集こそ当組合最大の特徴です。

町会団体役員の高齢化は特に深刻で、積み込みなどの重労働を頼める理由は一つとなっています。そこで役割を明確にし、積み込みなどの労力は全て組合が行い、団



北区リサイクラー事業協同組合の総会にて

体は地域住民への周知活動の徹底（参加の呼びかけ、引越してきた方への営業活動等）を行います。新築のマンションへの営業などは我々が行うより遥かに参加率が高く、回収量も増加します。他にも一人住まいの高齢者や障害を持つ方には登録制（団体が取りまとめ）訪問収集を行っています。

平成二三年に北リラ式を取り入れて以降、組合の回収量、契約団体数ともに毎年増加しており、回収量が月七〇〇kgから八七に増加した団体もあります。

業者側の高齢化も深刻です。一人で集団回収を行うのが困難に：そんな時は集団回収を組合に譲り、組合は回収量に応じ別業務を提供します。もちろん作業の相棒付きです。

☆組合の取り組み③

資源持ち去り防止パトロール

回収業者が、パトロール業務を受託している事は、全国でも珍しいと思います。集積所の場所や収集時間を把握しており、且つ持ち去り行為者の情報が入りやすく近隣地域との情報交換もしやすい回収業者こそパトロール業務には一番相応しい筈です。

持ち去り行為者への注意書（↓指導書↓警告書↓罰金。上記は区が実施）発行、証拠となるビデオ撮影を許可され、パトロール時間（AM六時四〇分〜一〇時四〇分）の持ち去り被害は減少しています。また、近隣住民への聞き込み調査を行いパトロールコースに反映し、より効果的なものを目指しています。

この業務は肉体的な疲労が他業務に比べ少ない事から、組合員が長く働ける環境としても役立つているのです。

他にも「東京都環境力活性化事業」に盛り込まれている資源持ち去り対策予算（三年間継続業務）を活用し、北区民約一九万世帯に「持ち去り厳禁意思表示紙カバー」のポスティング配布を行い周知に努めました。それ以降、区民から目撃情報の提供が増え、持ち去りに一番効果のある区民の目を得たことが何よりの成果と言えます。

☆組合の取り組み④

粗大ごみ搬出代行業務

「引越しするので家具を全部粗大ごみで出したい」「アパートに住んでいるのですが、足が悪く下

まで運べない」そんな悩みを持つ方は多いと思います。

有料（タンス一棹で三千円程度）で、排出する方には決して安くはないと思いますが、年間一五〇件ほど依頼があり、大変好評です。家具の解体、粗大ごみに貼付するシールの購入、清掃事務所への予約サポートも行っております。

☆組合の取り組み⑤

周知啓発活動と知名度向上

資源の分別、リサイクルの必要性を訴えるだけでなく、業界のイメージや組合の知名度を高める事は人材定着、雇用において必要不可欠であり、循環型社会の継続にもっとも重要なことです。

当組合では、広報紙「くるりのお便り」を毎月発行（現在八八号）、特に作業員の日常を描いた四コマ漫画は大人気。



『くるりのお便り』毎月発行です。

この「くるり」は、区民主導のリサイクル団体「NPO法人北区リサイクル活動機構」が販売し

ているトイレットペーパー「北くるり」やティッシュペーパーにも使用されています。名前の由来は：東多摩の「ブーメラン」とほぼ同じ理由、広報誌作成と共に参考にさせて頂きました。



北区ブランドのトイレットペーパー『北くるり』

その他、小学生向けに「リサイクル先生出張講座」やメディアの取材協力も積極的に行っており、映画にも出演させて頂きました。

○最後に

当組合は北区と「災害時における遺体運搬等の業務に関する協定」を締結しています。私達の最大の顧客である区民が困っている時、手を差し伸べられる組合でありたいと考え、今回紹介した業務にも取り組んでいます。但し、協定が役に立つような日が来ないことを、また、未来永劫「循環型社会が続くこと」を祈っています。

※冒頭のクイズの答えは：ヴィーナス通信七〇号で。お楽しみに！

東リ協会 平成二九年度総会

公益社団法人東京都リサイクル事業協会の平成二九年度定時総会が五月十五日(月)、東資協本部にて開催された。今期は改選期に当たり、当組合吉浦理事長が理事として承認された。その他、全ての議案が満場一致を以て承認され、総会は滞りなく終了した。

懇親会の部は、会場を飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドに移して開催された。開会に際し、栗原理事長は昨今の相場の動きや発生減、中国の動向の影響について話され、再生資源の利用促進、そして国内優先利用のために力を合わせていきたいと語った。その後、来賓である東京都議会議員の



登壇する東リ協会理事の皆様

内田茂様、日資連飯田会長がご挨拶をされた。続いて、王子エコマテリアルの田口社長による乾杯のご発声で開宴した。懇親会の結びは、前回のヴィーナス通信で直言拝聴もご寄稿頂いている神奈川県リサイクル産業団体連合会金田会長の締めで閉会した。(福田)

第六九回 東資協総会

去る五月二〇日(土)、東京ガーデンパレスにて、東京都資源回収事業協同組合の総会が開催された。一月三〇日に急逝した片岡前理事長に代わり、世田谷支部の松本貞行氏が新理事長として着任して初めての総会となった。東資協の現執行部には、松本貞行氏が東資協



懇親会で挨拶をする松本新理事長

青年部長、日資連青年部長を務めていたころの青年部員が多く、若返った理事と組織で前進していく決意が語られた。その後、組合の功労者表彰として、吉浦理事長が感謝状を頂いた。東資協には、当組合吉浦理事長が理事相談役に就いているのを始め、監事として水野理事、広報委員長として紺野専務理事、東多摩支部長及び業務委員会金属部会長として小畑副理事長、古紙輸出部会長並びに青年部長として福田副委員長を理事として輩出している。東資協は当組合の親組織であり、当組合としてもこれまでと変わらず、全面的にバックアップしていきたいと考えている。(水野K)

第四五回 日資連総会

去る六月一七日(土)、東資協本部において、第四五回日資連通常総会が開催された。日資連飯田会長は冒頭のあいさつで、現在日資連で取り組んでいる回収システムのJIS規格化への取り組みや、公益財団法人古紙再生促進センター、日本製紙連合会や全国製紙原料直納商工組合と共に発足した東京オリンピック二〇二〇における『紙ゴミゼロ紙リサイクル』

〇%』プロジェクトについての説明と協力依頼を行った。

なお、日資連においては、故片岡氏の後任で、組織運営強化委員会委員長を当組合の吉浦理事長が引き継ぎ、副会長と兼任することになった。総会の議案は全て承認され、その後、日資連青年部長を務める当組合紺野専務理事より青年部報告がなされた。また、相談役である当組合紺野顧問から激励のあいさつを頂いた後、結びとして全国大会開催を三週間後に控えた松江広域再生資源組合の上野理事長から、オリンピックでのプロジェクトに日資連として参画することへ向けた熱い期待と、全国大会へ是非お越し下さいと歓迎のご挨拶を頂き閉会となった。(水野)



総会で挨拶をする飯田会長

**日資連全国大会
(島根県松江大会)に参加**

●式典

七月八日(土)午後二時より、島根県松江市の「ホテル一畑」にて、第四五回日資連全国大会(島根県松江大会)が開催された。

第一部の式典では、松江広域再生資源協同組合の中島裕氏による開会宣言後、同組合代表理事(日資連副会長)の上野誠喜氏が、日資連と業界との関係や、松江市内の観光スポットの案内等を含めた歓迎の挨拶をした。

続いて、主催者を代表して、日資連の飯田会長が、改正廃掃法・バーゼル法(六月)への対応、資源持ち去り問題対策、「認定制度」



挨拶する飯田会長



表彰される紺野顧問

・「リサイクル化証明書」への日本工業規格(JIS)の付与に関する取組、全国の組織化、東京オリピックの中で出た資源の収集プロジェクト等の項目を含めながら挨拶した。

さらに、地元島根県選出で自由民主党総務会長の細田博之衆議院議員、溝口善兵衛島根県知事、松浦正敬松江市長が挨拶し、島根県中小企業団体中央会の杉谷雅祥会長が祝辞を述べた。

挨拶等終了後、表彰式が行われ、東京都資源回収事業協同組合前理事長の故片岡繁氏に対する功労賞、当組合の紺野武郎常任顧問(株三栄サービス会長)に対する感謝状、松江広域再生資源協同組合の伊藤武巳氏に対する表彰状がそれぞれ贈呈され、受章者代表で伊藤氏が謝辞を述べた。

表彰式終了後、第四五回通常総会(六月一七日開催)の報告が武田



青年部報告を発表する紺野専務理事

誠一郎日資連専務理事から、青年部報告が紺野琢生日資連青年部長(当組合専務理事)から発表された。

最後に、松江広域再生資源協同組合の西村幸則氏より「大会決議」の宣言と、次期開催地熊本を代表して熊本再生資源協同組合の西原茂雄理事長が挨拶し、式典は無事終了した。

●基調講演

式典終了後、島根県開星高校野球部元監督で教育評論家の野々村直道先生が、「私の強育論」というテーマで記念講演を行った。講演の中で、野々村先生は、生徒に対する教育方法について、出来なかった事が出来た時に寝めること、



記念講演をされる野々村先生

愛ではなく本気で憎むための体罰、教師が本気になって生徒と対峙するためのイメージトレーニング等を、戦前の教育勅語や特攻隊の話もからめながら説明された。

●懇親会

講演終了後、懇親会が行われ、星野芳信松江市副市長、平林久一日資連相談役が挨拶し、細田重雄島根県議会議員が乾杯の音頭をとった。しばらくの歓談・食事後、アトラクションとして「石見神楽」が上演され、最後に鳥取県西部再生資源協同組合の海老田耕三氏の中締め挨拶で、懇親会は終了した。(柿崎)

ごみ・資源物はルールを守って出しましょう！

東村山市では、平成26年10月からごみ・資源物の全品目が戸別収集化になりましたが、この度平成29年7月から東久留米市でも全品目戸別収集化がスタートしました。東久留米市では以前はBOX回収だったこともあり、いつでもごみが出せて、分別もそれほど厳しくなかったのですが、10月には有料化も実施予定で、今後はますますごみ・資源物の分別が厳しくなります。また、市民の皆様も、我々回収業者も慣れていないところもあり、取りこぼしや後出し、未分別などの問題が多く発生しています。今一度、ごみ・資源物の出し方に関する基本的なルールを確認しておきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



①ごみ・資源を収集する時間は、いつも同じではありません。指定された時間までにお出し下さい。

各市では、市民の皆様が指定された時間までに出して下さいとお願いしています。東村山市では8時まで、その他小平市、西東京市、東久留米市、清瀬市では朝8時半までとなっています。『いえいえ、うちの辺りはいつも9時半ぐらいに回収車がくるのよ〜』なんておっしゃる方も多数いらっしゃいます。確かに、だいたい決まった車両が決まったルートを回るのが基本ですから、同じような時間には回収に向っています。但し、天候不順や時期によって発生量が増減するため、収集時間がいつもより早かったり遅かったりします。また、担当者が変われば、ルートが変更になることもあります。回収業者は、**どの家庭も決められた時間までにはごみ・資源を出し終えている前提で、同じ個所は基本的に一度しか取りに行きません。**ですので、収集時間にかかわらず、皆様決められた時間までに出して頂くようお願い致します。



東村山市は8時まで



西東京市、小平市、東久留米市、清瀬市は8時半まで

②ごみ・資源を収集する車両は、一台だけではなく、品目ごとに複数業者、複数台ある場合があります。品目ごとに分けて出して下さい。

『空き缶だけ積んでいって、古紙を置いていかれたのよ〜』なんてお電話を頂くことがあります。収集車両は分別収集をしておりますので、品目によって車両や委託業者が異なる場合があります。例えば、東久留米市では木・金曜日に缶と古紙・古着の回収がありますが、缶は東久留米市清掃事業協同組合が、古紙・古着は当組合が収集をしています。また、古紙・古着の場合、新聞・雑誌・雑がみ、段ボール、古着と4品目ありますので、それぞれ収集車両が違う場合があります。つまり、**市民の皆様が同じ日に出されたごみ・資源を1台の車が全部積んでいくわけではありません。収集には時**



新聞・雑誌は平ボディ、段ボールと古布はバックナーなど、複数車両の組み合わせで回収している。

差があることをご理解ください。また、右の写真のように缶と古紙・古着は重ならないように出し分けて頂くこと収集しやすく、取りこぼし防止にもなりますので、ご協力をお願いします。また、指定日以外の品目を出されても、担当車両が違うので収集は出来ず、違反シールを貼るなどの手間がかかります。指定日収集にもご協力をお願いします。



③収集車両から見て分かりやすい場所に出して下さい。

資源物の収集車両は、戸別収集の場合、委託車輛1日1台あたり1,300~1,500世帯を巡回しています。集積所収集に比べると収集ポイントは約10倍になっています。なお、荷下ろしや往復の時間を差し引くと、1世帯当たりにつけられる収集時間はおおよそ10秒程度になります。道路から見えてすぐに積み込みが出来るものを収集して回るだけでも10秒はとっくに過ぎてしまいます。まして、見えない門扉の裏、車の陰、バケツの中に出された場合、確認作業だけでも相当のロスタイムとなります。また、可燃ごみと違って、資源物は必ず出されているわけではないこともあり、空のバケツを何個も確認する作業は、回収員の精神的負担にもなっています。また、**可燃ごみなどを入れるバケツの中に古紙や古着を入れてしまうと、臭いが付いてしまい、リサイクル出来なくなる場合があります。**ごみ・資源物を出す場合は、道路から見やすい場所に分かりやすく出して下さい。また、**新聞販売店回収や集団資源回収と日程が同じ場合は、チラシなどでその旨明示して下さい。チラシ等の無いものは、行政に出されたものとして収集します。**



門扉の陰は見えません



車の陰も見えづらい

④資源物はきちんと分別して出して下さい。

一面でも書きましたが、資源物の品質について、これまで以上に厳しくなる状況になっております。日本の古紙の品質が良いとされているのは、市民の皆様がしっかりと分別して出して頂いているおかげであります。今後も各市の分別に従って、正しい方法で出して下さい。古紙は、禁忌品を混ぜないようにお願いします（ご希望があれば、古紙センターのパンフレットを差し上げます。）。



まとめ

- ① ごみ・資源物は指定された日の指定された時間までに出して下さい。
- ② ごみ・資源物は指定された袋や出し方で、しっかり分別して出して下さい。
- ③ 戸別収集の場合、道路から見えやすく取りやすい場所に出して下さい。
- ④ 資源物（古紙・古着）は、バケツの中などに入れないで下さい。
- ⑤ 新聞販売店や集団回収に出す場合は、チラシなどで明示して下さい。

以上、市民の皆様のご理解・ご協力、よろしくお願い致します。

藤沢市リサイクルプラザ見学 並びにI・O・Tに関する勉強会

去る七月一日、前回のヴィーナス通信の直言拝聴にご寄稿頂いた金田理事長様よりお声がけいただき、藤沢市のリサイクルプラザに吉浦理事長と行ってまいりました。当日は、慶應義塾大学SFC研究所 地域I・O・Tと情報力研究コンソーシアムの皆様の勉強会ということで、まずは藤沢市のリサイクルプラザを見学しました。

選別加工処理施設は、全てプラザ内の見学通路から見ることが出来るようになっていて、説明を受けながらびん・缶の処理施設、ペットボトル・廃プラスチックの処理施設を見学させて頂きました。



処理選別ラインを通路から見学

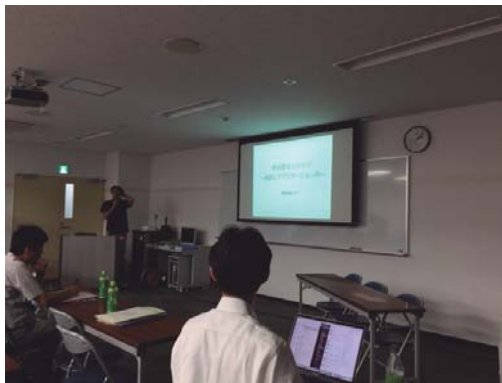
また、リサイクルプラザ内には、展示ブースもあり、各品目ごとのリサイクルルートの分かるパネル展示や、ペットボトルなどを利用したリサイクルアート作品も展示されており、大人も子供も楽しみながら勉強できるようになっていました。



ペットボトルのキャップによるリサイクルアート作品とパネル展示

一通り、見学を終えた後、会議室に移動し、事例発表が始まりました。まず初めに、慶應義塾大学

の米澤拓郎氏より、参加型センシングに関する概要とアプリケーショ事例についての説明が始まりました。お恥ずかしながら、I・O・Tについてですら知らなかったか状態でしたので、お話を伺うまでは何が何だか分からない状況でした。簡単に説明すると、アプリケーショに登録しているユーザーが自分の今いる地点での天気の情報などを投稿したものを集計することによって、よりピンポイントで各地域の状況が分かるといったシステムです。天気だけではなく、災害時に被災状況や道路の通行止めなどの状況などを瞬時に、細かく把握することが出来ます。ユーザーが増え、正確に情報を提供してくれるようになると、様々なことに活用



慶應義塾大学米澤拓郎氏による講演

することが可能になります。続いて、藤沢市資源循環協同組合の金子事務局長より、同組合で導入している新たな三者協調方式による資源回収システムの構築についての発表がありました。このシステムは、同組合と藤沢市、そしてシステム開発を行っている慶應義塾大学の三者の協力により運用されています。すべての資源回収車両にGPS端末を搭載し、各車両の現在地が分かる様になっていて、不法投棄や未回収などの連絡もすぐにドライバーと藤沢市の間で可能になっています。当組合でも現在導入を検討しているシステムが実用化目前という状況をお伺いすることが出来、大いに刺激を受けました。(TKO)



金子事務局長より藤沢みなレポの説明

第二四回通常総会開催



挨拶する吉浦理事長

五月十九日（金）午後五時三〇分より、「弥左衛門」（東京・小平市）にて、当組合の第二四回通常総会が開催された。

最初に、司会の水野青年部長が開会を告げ、萩原副理事長が開会の辞を述べた。

続いて吉浦理事長が挨拶し、議長に原口理事が選出されて、議事に入った。

第一号議案と第二号議案は、平成二八年度の事業報告と、平成二九年度の活動方針案を紺野専務理事が、平成二八年度決算報告と、平成二九年度予算案が事務局より読み上げ、全会一致で承認された。第三号議案、第四号議案は、吉浦

理事長が説明し、全会一致で承認された。第五号議案・定款一部変更については、事務局より別資料を基に説明し、全会一致で承認された。最後に水野青年部長が、平成二八年度青年部活動報告と、平成二九年度青年部活動方針を発表し、議事は全て滞りなく終了した。議事終了後、来賓として出席頂いた地元の小平市市長小林正則様、東京都中小企業団体中央会・情報課主幹・安藤直樹様から、長年地域のリサイクルを支えてきた組合へのエールを込めたご挨拶を頂戴した。最後に、小畑副理事長が開会の辞を述べて、通常総会は無事終了した。（柿崎）

東村山市集団回収

団体連絡会議

去る五月二十七日（土）、東村山市役所北庁舎にて、平成二九年度の東村山市集団回収団体連絡会議が開催された。当日は、市内の多くの集団回収団体の代表の皆様にご参加いただいた。

まず、東村山市資源循環部ごみ減量推進課より集団資源回収の動向やごみや資源物の出し方に関する注意事項などの説明がなされた。



プロジェクターを利用して説明

その後、当組合吉浦理事長が、集団資源回収の取扱品目である古紙類、古布類、アルミ缶の市況、リサイクルの情勢、再生方法や分別のお願いについて講演を行った。団体の皆様からは多くの質問が寄せられ、関心の高さが伺えた。また、当日当組合より配布した雑誌がみ回収袋、古紙センターのパンフレット、ヴィーナス通信などを各団体でも配布したいとの声があり、要望に応じて後日資料をお届けした。一面でも記載したが、今後ますますの分別排出の徹底が必要となる。集団回収団体や市民団体の皆様からの要望があれば、古紙センターの資料の送付や、出張分別講習会も開催しておりますので、当組合にお気軽にお問い合わせ下さい。（TKO）

トイレットペーパー

「フューメラン」

(65m巻き・100個入り)

1ケース3,200円(消費税・配達料込み)です。

※なお、配達には以下の地域に限定させていただきます。

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・東大和市

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787



東久留米市の戸別収集を前に安全講習会を開催

去る六月二十六日(月)、七月から開始される、東久留米市戸別収集の回収作業員を対象にした安全講習会を東村山市市民センターで開催しました。

紺野専務理事の開会宣言があり、福田業務委員会副委員長より東多摩再資協安全行動宣言を全員で唱和しました。続いて理事長挨拶では、吉浦理事長から、戸別回収を必ず成功させ、安全作業の徹底していくようお話がありました。来賓として、東久留米市環境安全部部长山下一美様、ごみ対策課業務係長河渕克己様に御参加頂き、



戸別収集の注意点等説明しました

山下部長からご挨拶を頂きました。来賓挨拶では、日頃の安全作業への感謝と、行政、組合が協力し合い、問題点を解決していき、戸別回収を成功させていきたいと思います。今回の安全講習会は、声帯の炎症により声が出ない紺野専務理事に代わり、私、青年部長の水野が初めてメインの講師役を務めさせて頂きました。講習会では、パワーポイントの資料に基づいて、回収における基本事項の確認、車両及び装備品の点検・作業服の徹底、市民への応対、回収のルール、行政と組合と各社の連携方法、回収時の注意点、想定される問題点のクリアの仕方などの説明をさせて頂きました。

東久留米回収では、従来ステーション回収を行っていたエリアの他に、全区域の三分の一に当たる新規に回収が始まるエリアもあるため、戸別回収の実績はあるものの、回収員も不安に感じているところもあり、質疑応答では多数の質問がありました。質問には、市側から山下部長、河渕係長にも直接ご回答頂き、万全の体制を以て回収をスタートできる準備が出来たと思います。最後に小畑業務委員長より講評と閉会の辞があり、

改めて本日の講習会を受けて戸別収集を安全に大成功に収めていく決意が語られて、講習会は無事閉会しました。(水野K)

回収の現場からお願い!

東京は梅雨明けしてからは、梅雨入りした様なお天気が続き、二日連続降雨の記録は四〇年ぶりという事で、夏らしい夏があまり無く、八月も終わってしまっています。

さて東久留米市の資源物戸別回収が始まり二か月近く経とうとしています。回収して頂くお願いがいくつかあります。

一つは、古布類の分別の件です。これまで可燃ごみと一緒に回収していた古布類が、古紙類と同じ日になりました。ところが、古布の中にリサイクルできない布団類やじゆうたんなどがたくさん出ております。まくらや座布団、マットレスといったもの見られますので、市の分別方法に従って出してください。古布を出さないでいただきたいというお願いです。雨の日も雨の日出された古布は、リサイクルされず、柳泉園にてゴミとして焼却処分しなければならぬからです。

もう一つは、七月からごみ・資源物を出して頂く時間が三〇分早まって八時三〇分までとなりました。これに伴い、私たち回収業者も八時三〇分から順次回収に回っています。すでに回収が終わったエリアを帰りに通ると、また何軒か資源を出されているケースがあります。回収業者も変わりましたので、ルートも回収時間も前後しているためでしょうか?ごみ・資源物は、朝八時三〇分迄に出して頂くようお願いいたします。

その他、ごみの出し方については、六〇七面のリサイクル掲示板でも細かく説明させて頂いておりますので、併せてごらんください。七月から始まった戸別回収作業にも、徐々にですが作業員も慣れてきております。どうかこれからも宜しくお願い致します。(小畑)



すでに回収を終えたところで資源が出されていた場合、このチラシを投函します。次回は8時半までに出して下さい。

各市でリサイクル

イベント開催!

四月から七月にかけて、各市のリサイクルイベントが行われ、当組合も出店してまいりました。晴天に恵まれ、多くの方々に参加していただきました。

好評をいただいている小物雑貨類の回収、リサイクル分別ゲームと資源に関する質問コーナーを行いました。

小物雑貨類の回収、分別ゲームを通して、物を大切に使い、ごみの発生抑制「リデュース」、まだまだ使えるものを誰かに使ってもらおう再利用「リユース」、素材ごとにきちんと分けて新しいものを作る「リサイクル」。この3Rを実感、



東大和市環境市民の集いにて



きよせの環境・川まつりにて

理解したいいただくことを目的としています。

リサイクルの分別ゲームでは、今回東久留米市環境フェスティバルに参加した時、前回イベントに参加して下さっている方が、「去年、分別ゲームに参加して勉強してから、きちんと分けているの」とおっしゃってくださいました。集められた小物雑貨類は、国内外で喜ばれ、大切にリユースされます。ごみ減量にもつながります。リサイクルは持続可能なものでなくてはなりません。これからも積極的にPRして3Rの拡大に努めてまいります。

なお、秋もイベントが目白押しです。詳しくは下記をご覧ください、ぜひお越しください。(水野K)

〇〇秋のリサイクルイベント出展案内! 〇〇

秋も、各市で開催される様々なイベントに出展しております。不用になった育児用品、おもちゃ、ぬいぐるみ、くつ、カバンなどを持って遊びに来てください!

① 9月9日(土) こだいら環境フェスティバル

10:00~15:00 @小平市中央公園・ふれあい下水道館
小物雑貨類の回収、分別ゲーム、古紙分別相談を行っています。

② 9月17日(日) くるめツザニア2017

10:00~15:35 @学校法人自由学園
※小学生のお仕事体験イベントに出展し、紙漉き体験をやっていきます。事前申込制です。

③ 10月15日(日) 東村山市リサイクルフェア

10:00~13:00 @東村山市秋水園
小物雑貨類の回収、分別ゲーム、古紙分別相談を行っています。

④ 11月9日(木) ⑤2018年1月25日(木) 小平市リサイクルきゃらばん

時間は未定。市報をご覧ください。④小平市東部公園駐車場 ⑤小平市リサイクルセンター
小物雑貨類、牛乳パックの回収を行います。

資源回収ドライバー、 構内作業員求む！

今年四月に有効求人倍率が一・四八となり、バブル期の最高一・四六を超えた。その後も順調に推移しており、景気が回復したと喜んでいられる方もいるようだが、実態は各業種で人手不足が深刻化しており、仕事を取りたくても人手不足で断っている会社もあるようだ。人件費も高騰しており、同業種で人材の取り合い状態となっているため、求人の際の給与額が上昇し、企業の負担になっている。

平成一九年からの新免許制度もドライバーの求人では足かせとなっており、五トン未満の普通免許では車両総重量が六トンを超えるパッカー車や積載三トン超の平ボディ車には乗れない。今年三月の改正で出来た新普通免許では、小型トラックにすら乗れない。このため、若い人材の採用を断念したり、限定解除の費用を会社で負担したりしている。

そんな厳しい雇用情勢の中でも、資源循環の輪を絶対に止めるわけにはいきません。地球環境、市民生活環境を守りたい、そんな熱い思いを持った人材を求む！

〇行事・行動

【平成二九年五月】

- 一日・・・東大和市環境市民の集い
- 三日・・・官公需共同受注検査
- 五日・・・小平RC責任者会議
- 九日・・・小平RCペットボトル検査
- 十日・・・官公需共同受注検査
- ・・・財務委員会・広報委員会
- 十一日：定例理事会
- 十五日：東久留米市廃棄物減量審
- ・・・東リ協会定時総会
- 十七日：東村山市RF実行委員会
- 十九日：第二四回通常総会
- 二〇日：東資協総会
- 二七日：東村山市集団回収団体意見交換会
- 二八日：小立山「みせロフリーマーケット」
- ・・・西東京市環境フェスティバル
- 三一日：古紙センター理事会
- ・・・多摩リサイクル協同組合総会
- ・・・東村山市業者連絡会議

【六月】

- 二日：西東京市GPS調査
- ・・・小平RC責任者会議
- 四日：東大和市環境市民の集い
- 七日：福利厚生委員会
- ・・・業務委員会
- 十日：東久留米市環境フェスティバル
- 十一日：東久留米市環境フェスティバル
- 十二日：定例理事会
- 十四日：東久留米市戸別回収準備会議

西東京市受託業者会議

十五日：小平市GPS調査

- ・・・古紙センター理事会
- ・・・小平市ごみ減量実行委員会
- 二一日：青年部会議
- 二六日：回収作業員安全講習会
- 二八日：財務委員会

【七月】

- 六日東久留米市戸別回収開始
- 七日：小平RC責任者会議
- 八日：日資連全国大会松江大会
- ・・・小立山リサイクル「きやらばん」
- 十一日：定例理事会
- 十五日：RC暑気払い
- 十九日：東村山市RF実行委員会
- 二二日：清瀬市環境・川まつり
- 二六日：東村山市業者連絡会議
- 二七日：業務委員会・広報委員会
- 三〇日：組合員家族慰安会

【八月】

- 四日：小平RC責任者会議
- ・・・小平市ごみ減量実行委員会
- 七日：東村山市GPS調査
- ・・・業務委員会
- 八日：業務最適化管理システム説明会
- 十一日：定例理事会
- 十三日：西東京市廃棄物減量審
- 二四日：青年部会議
- 二八日：受注検査委員会
- ・・・業務委員会・広報委員会
- 三〇日：古紙持ち去り意見交換会
- 三一日：東大和市廃棄物減量審

編集後記

直言拝聴をご寄稿頂きました北区リサイクラー事業協同組合鰐淵理事長、ありがとうございます。東資協業務委員長としても活躍されている貴殿の、地元組合での区民・行政と連携した様々な取り組みは、当組合としても学ぶべきところが多く感じました。月に二度三度はお会いする仲ですので、今後とも日々ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、中国の再生資源情勢が本当に不透明になってまいりました。商社によっては樂觀視しているところもあるようですが、相手が相手だけに急に強硬的な輸入停止やシップバックもないとは限りません。輸出が止まれば、その分国内メーカーにあふれた古紙がなだれ込んでくるため、国内相場が値崩れを起こす可能性があります。これまでも国内優先で納入してきた当組合としては、国内メーカーに対して受け入れを止めないことと、適正価格での購入をお願いしていきたいと考えます。いずれにしても、今打てる対策としては、これまで以上に分別を強化し、資源物の品質確保をしていくことしかありません。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。(TKO)